# ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

<2750> <2751>

（為替ヘッジあり）追加型投信／海外／株式
日経新聞掲載名：ジャナ米中有
（為替ヘッジなし）追加型投信／海外／株式
日経新聞掲載名：ジャナ米中無

第15期　2025年４月18日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の中型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

（為替ヘッジあり）

| | | |
|---|---|---|
| 第15期末 | 基準価額 | 10,126円 |
| | 純資産総額 | 357百万円 |
| 第15期 | 騰落率 | △15.0% |
| | 分配金 | 0円 |

（為替ヘッジなし）

| | | |
|---|---|---|
| 第15期末 | 基準価額 | 13,593円 |
| | 純資産総額 | 4,386百万円 |
| 第15期 | 騰落率 | △17.6% |
| | 分配金 | 0円 |

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management
大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　受付時間　9：00～17：00（営業日のみ）
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

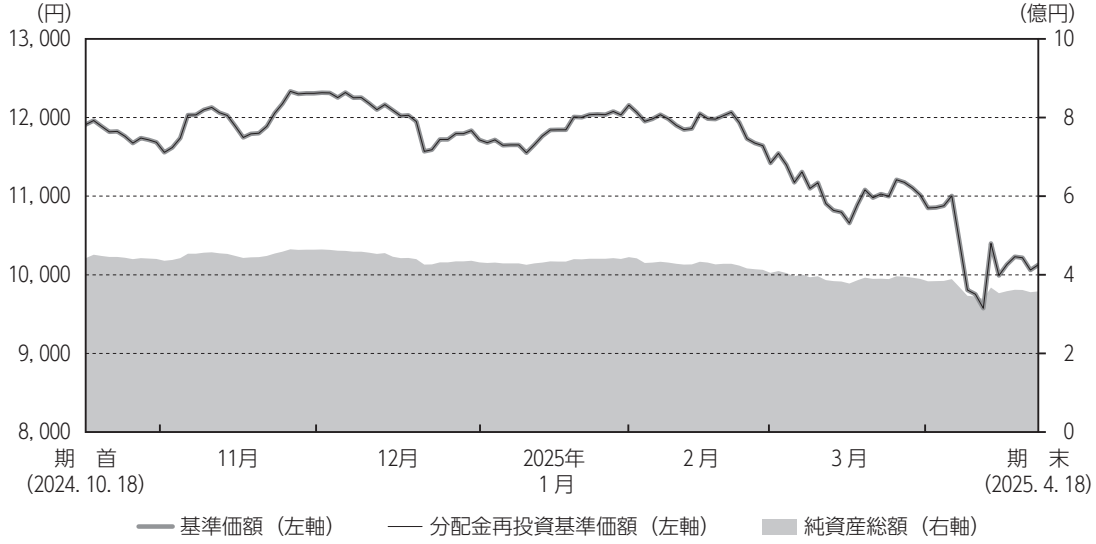
◇SKU0275020250418◇

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス　→　ファンド検索欄にファンド名を入力　→　リストから当ファンドを選択　→　運用報告書（全体版）を選択

為替ヘッジあり

# 運用経過

## 基準価額等の推移について




（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### ■基準価額・騰落率

期　首：11,910円
期　末：10,126円（分配金 0 円）
騰落率：△15.0%（分配金込み）

### ■基準価額の主な変動要因

米国中型株式市況が下落したことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1万口当りの費用の明細

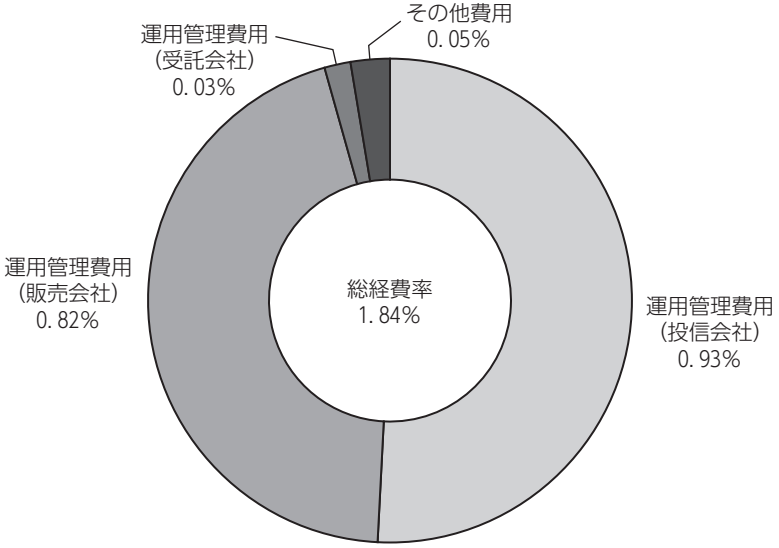
| 項　目 | 当　期<br>(2024. 10. 19～2025. 4. 18)<br>金　額 | 比　率 | 項　目　の　概　要 |
|---|---|---|---|
| **信　託　報　酬** | 104円 | 0. 894% | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率<br>**当作成期中の平均基準価額は11, 586円です。** |
| （投 信 会 社） | (54) | (0. 466) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| （販 売 会 社） | (48) | (0. 411) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受 託 会 社） | (2) | (0. 016) | 受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| **売買委託手数料** | 1 | 0. 006 | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （株　　式） | (1) | (0. 006) | |
| （投 資 証 券） | (0) | (0. 000) | |
| **有価証券取引税** | 0 | 0. 000 | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （株　　式） | (0) | (0. 000) | |
| （投 資 証 券） | (0) | (0. 000) | |
| **そ の 他 費 用** | 3 | 0. 024 | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数 |
| （保 管 費 用） | (2) | (0. 019) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監 査 費 用） | (0) | (0. 003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （そ　の　他） | (0) | (0. 002) | 信託事務の処理等に関するその他の費用 |
| **合　　計** | 107 | 0. 924 | |

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

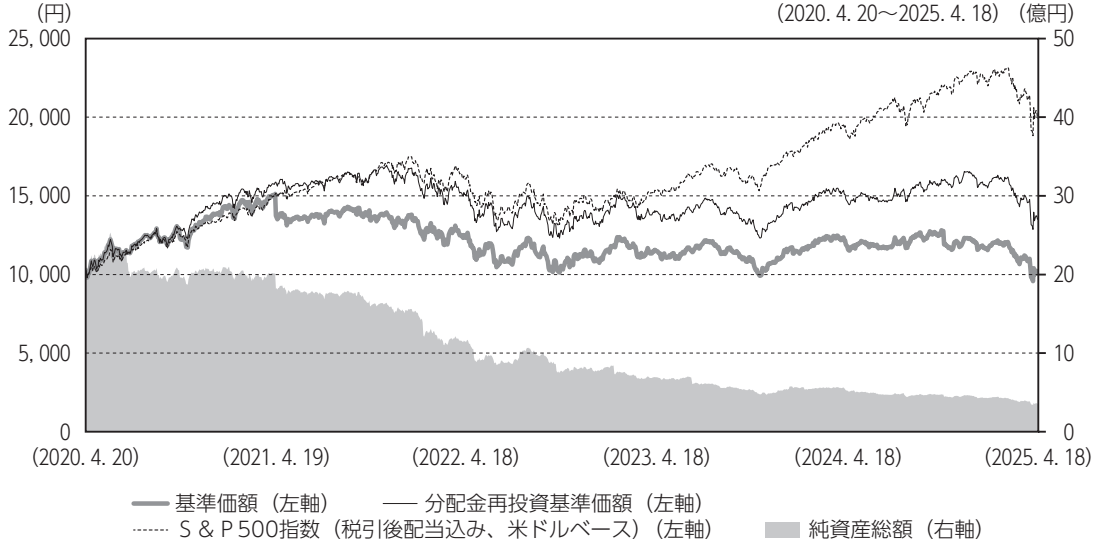
### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84％です。




（注１）１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について




（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年４月20日の基準価額をもとに指数化したものです。

＊参考指数はＳ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、米ドルベース）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

| | | 2020年４月20日<br>期初 | 2021年４月19日<br>決算日 | 2022年４月18日<br>決算日 | 2023年４月18日<br>決算日 | 2024年４月18日<br>決算日 | 2025年４月18日<br>決算日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | (円) | 10, 291 | 13, 733 | 12, 400 | 11, 493 | 11, 603 | 10, 126 |
| 期間分配金合計（税込み） | (円) | — | 2, 000 | 700 | 40 | 300 | 850 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) | — | 54. 2 | △5. 0 | △7. 0 | 3. 7 | △6. 5 |
| Ｓ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、米ドルベース）騰落率 | (%) | — | 47. 3 | 6. 0 | △4. 3 | 22. 3 | 6. 2 |
| 純資産総額 | (百万円) | 2, 123 | 1, 817 | 1, 147 | 692 | 514 | 357 |

（注１）比率は小数点第１位未満を四捨五入してあります。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、米ドルベース）騰落率は、同指数の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

（2024. 10. 19 ～ 2025. 4. 18）

### ■米国中型株式市況

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、2024年11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことなどから、当作成期首より上昇しました。12月中旬にＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が0. 25％ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年１月中旬以降は、ＣＰＩ（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。２月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、株価は下落しました。４月初めに公表された関税政策は市場予想を上回る厳しい内容となり、株価はさらに下落して当作成期末を迎えました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済のソフトランディングやインフレ圧力緩和による利下げ開始は、米国中型株式市場にとってプラスとみています。その一方で、住宅着工件数の鈍化や低所得者層の消費に弱さが見られることから、景気減速の兆候がさらに強まれば、市場の変動性が高まる可能性があるとみています。当戦略はこうしたリスクを意識したポジショニングを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しており、慎重なアプローチが求められる局面では、当戦略の投資手法の有効性が高まると考えます。今後も持続可能な成長力と強力な競争優位性を持ち、負債水準が低くバランスシートが強固で、潤沢なフリー・キャッシュ・フローと健全な収益見通しを持つ企業の発掘に重点を置き、安定したリスク調整後リターンの獲得をめざす方針です。

## ポートフォリオについて

（2024. 10. 19 ～ 2025. 4. 18）

**■当ファンド**

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行いました。

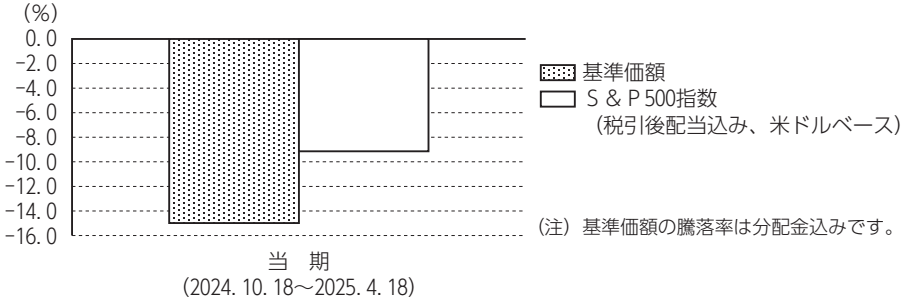
**■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド**

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

セクター別では、関税引き上げによる影響が比較的少ないとみている金融と、相場変動時におけるディフェンシブ性、ＡＩ（人工知能）の利用拡大を受けた電力需要の増加による恩恵が期待できる公益事業の比率を引き上げました。一方で、ＦＤＡ（米国食品医薬品局）の人員削減などの悪影響が懸念されるヘルスケアと関税引き上げが重しになると予想される資本財・サービスの比率を引き下げました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（１万口当り）

| 項　　目 | | 当　　期<br>2024年10月19日<br>～2025年４月18日 |
|---|---|---|
| **当期分配金（税込み）** | **（円）** | **―** |
| 対基準価額比率 | （％） | ― |
| 当期の収益 | （円） | ― |
| 当期の収益以外 | （円） | ― |
| 翌期繰越分配対象額 | （円） | 2,132 |

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

# 今後の運用方針

**■当ファンド**

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

**■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド**

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

トランプ政権の連邦予算削減やインフレ再燃に繋がる関税政策によって経済活動が抑制される可能性があり、米国の成長鈍化と株式市場のボラティリティ上昇のリスクが高まりつつあります。関税政策によって、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の金融政策に関する舵取りがより難しいものとなっており、金利がより長期にわたって高止まりする可能性があることから、企業業績や経済への影響を注視していく方針です。このような不確実性の高い環境においては、政策や経済成長の着地点を予想するよりも、持続的な収益成長、質の高いバランスシート、経験豊富な経営陣、高い競争力、適正なバリュエーションを持つ銘柄を見極めることが重要であると考えます。今後も米国経済の動向を注視しつつ、安定したリスク調整後リターンの獲得をめざしていく方針です。

# お知らせ

## ■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年４月１日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第１項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。

②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第１項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。

②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

---

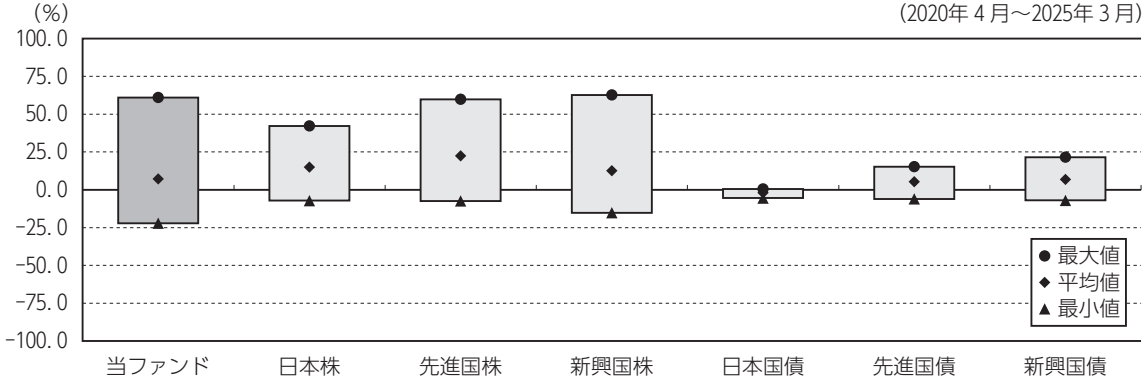
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

# 当ファンドの概要

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 2017年10月19日～2027年10月18日 | |
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの受益証券 |
| | ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド | 米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。以下同じ。）および不動産投資信託証券 |
| ベビーファンドの運用方法 | ①マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。<br>②保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。<br>※保有実質外貨建資産とは、当ファンドが保有する外貨建資産およびマザーファンドが保有する外貨建資産のうち当ファンドに属するとみなした外貨建資産をいいます。 | |
| マザーファンドの運用方法 | ①主として、米国の中型株式等（※）に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。<br>※当ファンドにおける米国の中型株式等とは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券のうち、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーが時価総額をもとに中型と判断した銘柄をいいます。<br>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。<br>イ．米国の中型株式等の中から、企業および業界の成長性、経営の質等を考慮し、調査対象銘柄を選定します。<br>ロ．調査対象銘柄に対して、キャッシュフロー、財務健全性、バリュエーション等のファンダメンタルズ分析をもとに、組入候補銘柄を決定します。<br>ハ．組入候補銘柄の中から、高い投下資本利益率を有し持続可能な成長が期待できる銘柄を重視し、リスクを抑え中長期的な視点でポートフォリオを構築します。<br>③外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託します。<br>④株式等の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。<br>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 | |
| 分配方針 | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 | |

Ｓ＆Ｐ500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ®、Ｓ＆Ｐ500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® およびCDX®は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「Ｓ＆Ｐ」）の商標です。Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）は、SPDJI、Dow Jones、Ｓ＆Ｐ、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

# 代表的な資産クラスとの騰落率の比較




| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 最　大　値 | 60.9 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 0.6 | 15.3 | 21.5 |
| 平　均　値 | 7.2 | 14.9 | 22.5 | 12.7 | △ 2.0 | 5.3 | 6.9 |
| 最　小　値 | △ 22.2 | △ 7.1 | △ 7.4 | △ 15.2 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 7.0 |

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去５年間における年間騰落率（各月末における直近１年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。
※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。
※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率において、過去５年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。
※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
※資産クラスについて
日本株……配当込みＴＯＰＩＸ
先進国株……ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株……ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債……ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債……FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債……ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイド（円ベース）
※指数について
●配当込みＴＯＰＩＸの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●ＭＳＣＩコクサイ・インデックスおよびＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）が開発した指数です。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。● FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。●ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

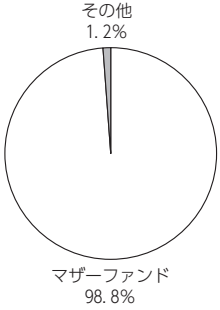
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

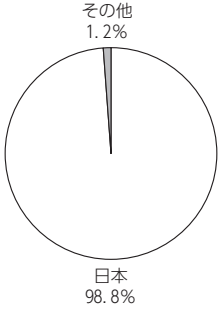
### ■組入ファンド等

| | 比　率 |
|---|---|
| ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド | 98. 8% |
| その他 | 1. 2 |

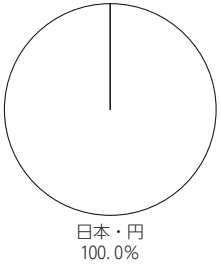
### ■資産別配分




### ■国別配分




### ■通貨別配分




（注１）上記データは2025年４月18日現在のものです。
（注２）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注３）国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
（注４）組入ファンドの保有外貨建資産に対して、為替ヘッジを行っています（為替ヘッジ比率：当ファンドの純資産総額の97. 5%）。
※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位３ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

| 項　　目 | 当　期　末 |
|---|---|
| | 2025年４月18日 |
| 純資産総額 | 357, 995, 508円 |
| 受益権総口数 | 353, 547, 535口 |
| １万口当り基準価額 | 10, 126円 |

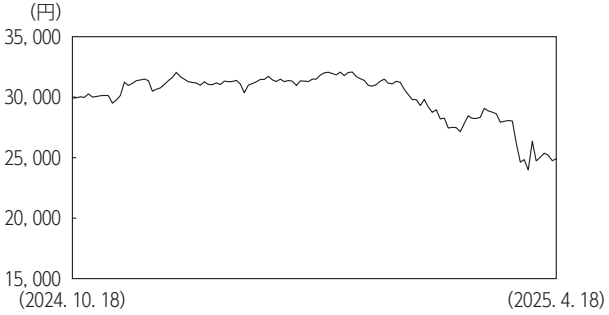
＊当期中における追加設定元本額は5, 640, 630円、同解約元本額は23, 351, 129円です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（作成対象期間　2024年10月19日～2025年４月18日）

**■基準価額の推移**



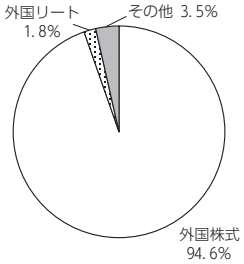

**■1万口当りの費用の明細**

| 項　　目 | |
|---|---|
| 売買委託手数料 | 2円 |
| （株式） | (2) |
| （投資証券） | (0) |
| 有価証券取引税 | 0 |
| （株式） | (0) |
| （投資証券） | (0) |
| その他費用 | 6 |
| （保管費用） | (6) |
| （その他） | (0) |
| 合　　計 | 8 |

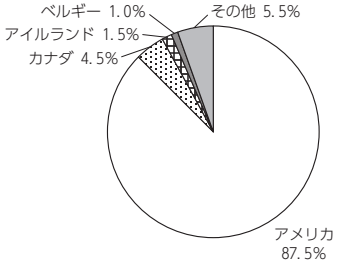
**■組入上位銘柄**

| 銘　柄　名 | 通　貨 | 比　率 |
|---|---|---|
| SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS | アメリカ・ドル | 4.1% |
| BOSTON SCIENTIFIC CORP | アメリカ・ドル | 3.3 |
| GODADDY INC - CLASS A | アメリカ・ドル | 3.1 |
| WR BERKLEY CORP | アメリカ・ドル | 2.9 |
| FLEX LTD | アメリカ・ドル | 2.8 |
| BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO | アメリカ・ドル | 2.7 |
| ALLIANT ENERGY CORP | アメリカ・ドル | 2.7 |
| FERGUSON ENTERPRISES LTD | アメリカ・ドル | 2.6 |
| TELEDYNE TECHNOLOGIES INC | アメリカ・ドル | 2.6 |
| LPL FINANCIAL HOLDINGS INC | アメリカ・ドル | 2.6 |
| 組入銘柄数 | 71銘柄 | |

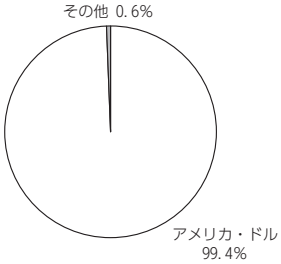
**■資産別配分**




**■国別配分**




**■通貨別配分**

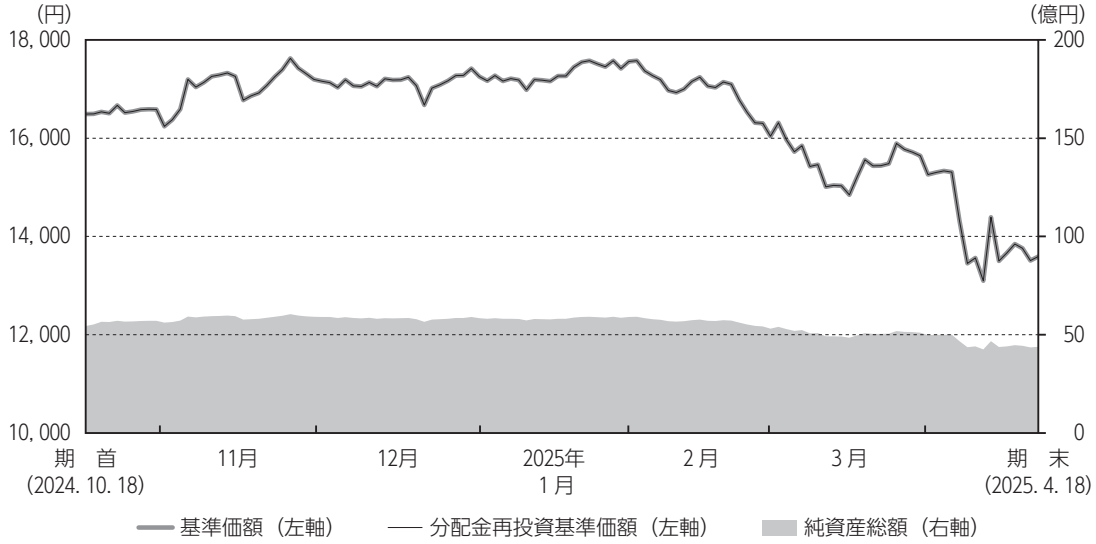



（注１）基準価額の推移、１万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。
（注２）１万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。
（注３）組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注４）国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
（注５）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

為替ヘッジなし

# 運用経過

## 基準価額等の推移について




（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### ■基準価額・騰落率

期　首：16,492円
期　末：13,593円（分配金 0 円）
騰落率：△17.6％（分配金込み）

### ■基準価額の主な変動要因

米国中型株式市況が下落したことや、米ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1万口当りの費用の明細

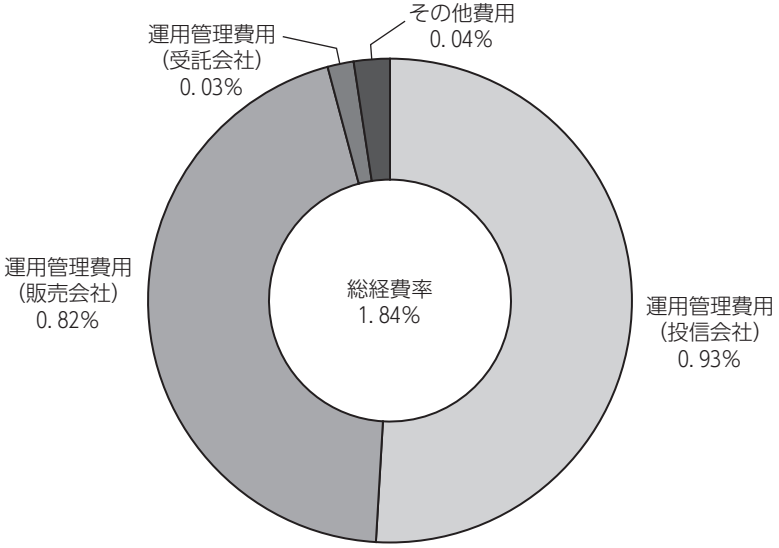
| 項　　目 | 当　期<br>(2024. 10. 19～2025. 4. 18) | | 項　目　の　概　要 |
|---|---|---|---|
| | 金　額 | 比　率 | |
| **信　託　報　酬** | 147円 | 0. 894% | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率<br>**当作成期中の平均基準価額は16, 457円です。** |
| （投 信 会 社） | (77) | (0. 466) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| （販 売 会 社） | (68) | (0. 411) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受 託 会 社） | (3) | (0. 016) | 受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| **売買委託手数料** | 1 | 0. 006 | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （株　　式） | (1) | (0. 006) | |
| （投 資 証 券） | (0) | (0. 000) | |
| **有価証券取引税** | 0 | 0. 000 | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （株　　式） | (0) | (0. 000) | |
| （投 資 証 券） | (0) | (0. 000) | |
| **そ の 他 費 用** | 4 | 0. 022 | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数 |
| （保 管 費 用） | (3) | (0. 019) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監 査 費 用） | (0) | (0. 003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （そ　の　他） | (0) | (0. 001) | 信託事務の処理等に関するその他の費用 |
| **合　　計** | 152 | 0. 922 | |

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

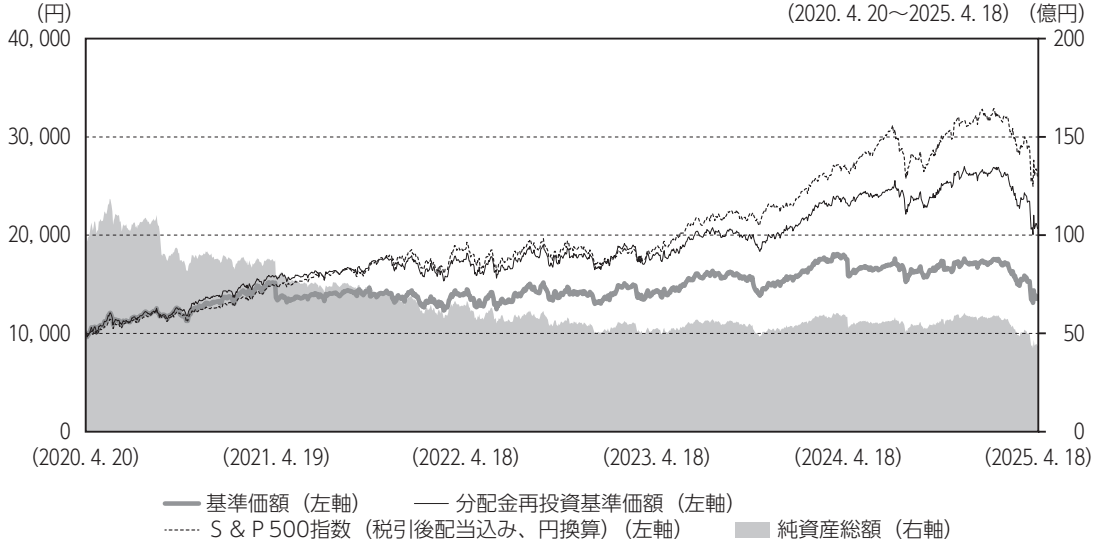
### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84％です。




（注１）１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について




（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年４月20日の基準価額をもとに指数化したものです。

＊参考指数はＳ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、円換算）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

| | | 2020年４月20日<br>期初 | 2021年４月19日<br>決算日 | 2022年４月18日<br>決算日 | 2023年４月18日<br>決算日 | 2024年４月18日<br>決算日 | 2025年４月18日<br>決算日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | (円) | 10, 127 | 13, 661 | 13, 993 | 14, 372 | 15, 885 | 13, 593 |
| 期間分配金合計（税込み） | (円) | — | 2, 050 | 1, 100 | 150 | 2, 200 | 900 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (％) | — | 56. 6 | 10. 6 | 3. 8 | 26. 6 | △9. 8 |
| Ｓ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、円換算）騰落率 | (％) | — | 48. 4 | 23. 6 | 1. 5 | 40. 5 | △2. 1 |
| 純資産総額 | (百万円) | 10, 156 | 7, 842 | 6, 413 | 5, 272 | 5, 260 | 4, 386 |

（注１）比率は小数点第１位未満を四捨五入してあります。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、円換算）は、Ｓ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

（2024. 10. 19 ～ 2025. 4. 18）

### ■米国中型株式市況

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、2024年11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことなどから、当作成期首より上昇しました。12月中旬にＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が0. 25％ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年１月中旬以降は、ＣＰＩ（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。２月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、株価は下落しました。４月初めに公表された関税政策は市場予想を上回る厳しい内容となり、株価はさらに下落して当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

米ドル為替相場は対円で下落しました。

米国金利の上昇に連れて、米ドル為替相場は、当作成期首より円安基調となりました。2024年11月半ばになると、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、再度円安が進行しました。2025年１月に入ると、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、円高に転じました。２月以降も、米国金利の低下や日銀の審議委員が利上げを進める方針を示したこと、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高が進行しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

**■当ファンド**

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

**■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド**

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済のソフトランディングやインフレ圧力緩和による利下げ開始は、米国中型株式市場にとってプラスとみています。その一方で、住宅着工件数の鈍化や低所得者層の消費に弱さが見られることから、景気減速の兆候がさらに強まれば、市場の変動性が高まる可能性があるとみています。当戦略はこうしたリスクを意識したポジショニングを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しており、慎重なアプローチが求められる局面では、当戦略の投資手法の有効性が高まると考えます。今後も持続可能な成長力と強力な競争優位性を持ち、負債水準が低くバランスシートが強固で、潤沢なフリー・キャッシュ・フローと健全な収益見通しを持つ企業の発掘に重点を置き、安定したリスク調整後リターンの獲得をめざす方針です。

## ポートフォリオについて

（2024. 10. 19 ～ 2025. 4. 18）

**■当ファンド**

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

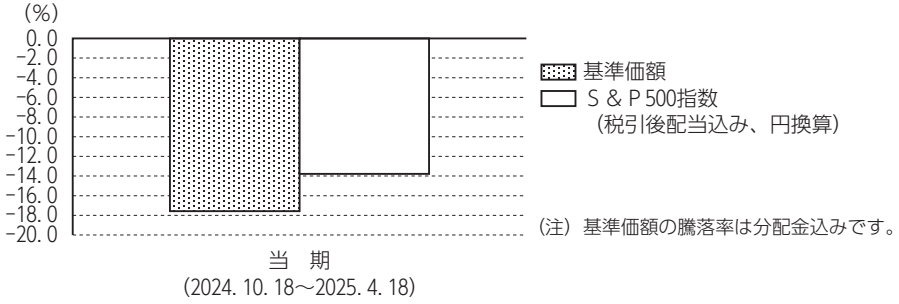
**■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド**

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

セクター別では、関税引き上げによる影響が比較的少ないとみている金融と、相場変動時におけるディフェンシブ性、ＡＩ（人工知能）の利用拡大を受けた電力需要の増加による恩恵が期待できる公益事業の比率を引き上げました。一方で、ＦＤＡ（米国食品医薬品局）の人員削減などの悪影響が懸念されるヘルスケアと関税引き上げが重しになると予想される資本財・サービスの比率を引き下げました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。




## 分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（１万口当り）

| 項　　目 | | 当　　期<br>2024年10月19日<br>～2025年４月18日 |
|---|---|---|
| **当期分配金（税込み）　（円）** | | **―** |
| | 対基準価額比率　（%） | ― |
| | 当期の収益　（円） | ― |
| | 当期の収益以外　（円） | ― |
| 翌期繰越分配対象額　（円） | | 6,475 |

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

# 今後の運用方針

**■当ファンド**

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

**■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド**

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

トランプ政権の連邦予算削減やインフレ再燃に繋がる関税政策によって経済活動が抑制される可能性があり、米国の成長鈍化と株式市場のボラティリティ上昇のリスクが高まりつつあります。関税政策によって、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の金融政策に関する舵取りがより難しいものとなっており、金利がより長期にわたって高止まりする可能性があることから、企業業績や経済への影響を注視していく方針です。このような不確実性の高い環境においては、政策や経済成長の着地点を予想するよりも、持続的な収益成長、質の高いバランスシート、経験豊富な経営陣、高い競争力、適正なバリュエーションを持つ銘柄を見極めることが重要であると考えます。今後も米国経済の動向を注視しつつ、安定したリスク調整後リターンの獲得をめざしていく方針です。

# お知らせ

## ■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年４月１日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第１項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。

②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第１項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。

②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

---

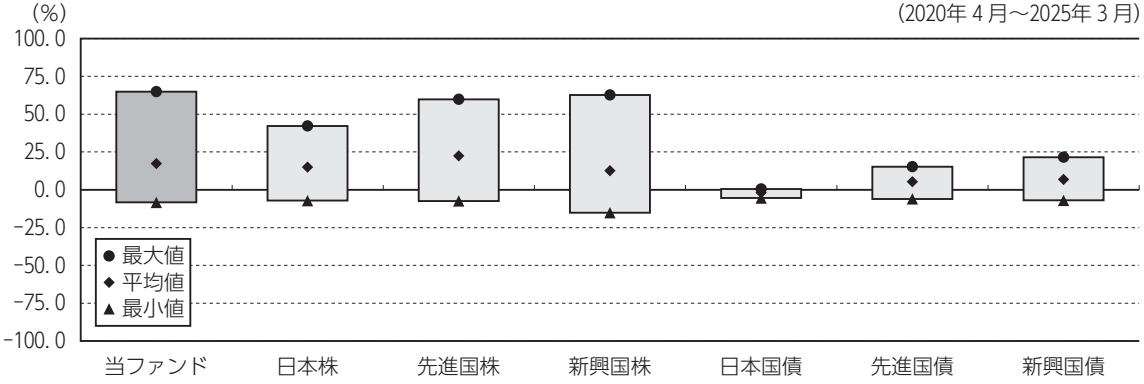
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

# 当ファンドの概要

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 2017年10月19日～2027年10月18日 | |
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの受益証券 |
| | ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド | 米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。以下同じ。）および不動産投資信託証券 |
| マザーファンドの運用方法 | ①主として、米国の中型株式等（※）に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。<br>※当ファンドにおける米国の中型株式等とは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券のうち、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーが時価総額をもとに中型と判断した銘柄をいいます。<br>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。<br>イ．米国の中型株式等の中から、企業および業界の成長性、経営の質等を考慮し、調査対象銘柄を選定します。<br>ロ．調査対象銘柄に対して、キャッシュフロー、財務健全性、バリュエーション等のファンダメンタルズ分析をもとに、組入候補銘柄を決定します。<br>ハ．組入候補銘柄の中から、高い投下資本利益率を有し持続可能な成長が期待できる銘柄を重視し、リスクを抑え中長期的な視点でポートフォリオを構築します。<br>③外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託します。<br>④株式等の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。<br>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 | |
| 分配方針 | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 | |

Ｓ＆Ｐ500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ®、Ｓ＆Ｐ500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® およびCDX®は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「Ｓ＆Ｐ」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）は、SPDJI、Dow Jones、Ｓ＆Ｐ、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

# 代表的な資産クラスとの騰落率の比較




| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 最　大　値 | 64.9 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 0.6 | 15.3 | 21.5 |
| 平　均　値 | 17.3 | 14.9 | 22.5 | 12.7 | △ 2.0 | 5.3 | 6.9 |
| 最　小　値 | △ 8.3 | △ 7.1 | △ 7.4 | △ 15.2 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 7.0 |

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去５年間における年間騰落率（各月末における直近１年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。
※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。
※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率において、過去５年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。
※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
※資産クラスについて
日本株……配当込みＴＯＰＩＸ
先進国株……ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株……ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債……ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債……FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債……ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイド（円ベース）
※指数について
●配当込みＴＯＰＩＸの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●ＭＳＣＩコクサイ・インデックスおよびＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）が開発した指数です。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。● FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。●ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

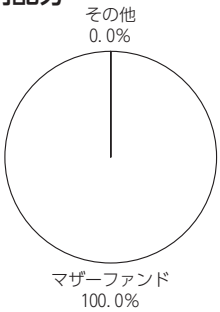
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

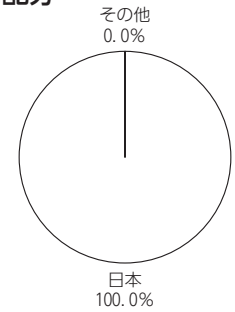
### ■組入ファンド等

| | 比　率 |
|---|---|
| ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド | 100.0% |
| その他 | 0.0 |

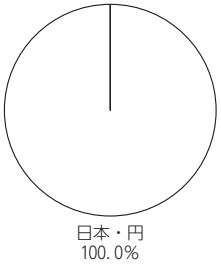
### ■資産別配分




### ■国別配分




### ■通貨別配分




（注１）上記データは2025年４月18日現在のものです。
（注２）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注３）国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。「組入上位ファンドの概要」には、組入上位３ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

| 項　　目 | 当　期　末 |
|---|---|
| | 2025年４月18日 |
| 純資産総額 | 4,386,706,838円 |
| 受益権総口数 | 3,227,095,683口 |
| １万口当り基準価額 | 13,593円 |

＊当期中における追加設定元本額は217,465,472円、同解約元本額は292,253,749円です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

◆**ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド**（作成対象期間　2024年10月19日～2025年４月18日）

13ページをご参照ください。